

老いのプロセスにおける心理的メカニズム －臨床心理士の立場から－

北里大学医療衛生学部
深瀬 裕子

1. 高齢者の発達課題－E. H. エリクソンの発達課題

1-1. 高齢者の発達課題とは

	1	2	3	4	5	6	7	8
VIII. 老年期	感謝 対 不信感	内的・外的自律 対 自律放棄	挑戦 対 目的喪失	喜び 対 劣等感	確固な自己 対 自己の揺らぎ	確固たる関係 対 途絶え	祖父母の世代性 対 逆転拒否	統合 対 絶望
VII. 中年期							世代性 対 停滞	
VI. 成人前期						親密性 対 孤立		
V. 青年期					アイデンティティ達成 対 拡散			
IV. 学童期				勤勉性 対 劣等感				
III. 幼児後期			自発性 対 罪悪感					
II. 幼児前期		自律性 対 恥, 疑惑						
I. 乳児期	信頼感 対 不信感							

図1. 発達図式 (深瀬・岡本, 2010a)

1-2. 発達課題の変化

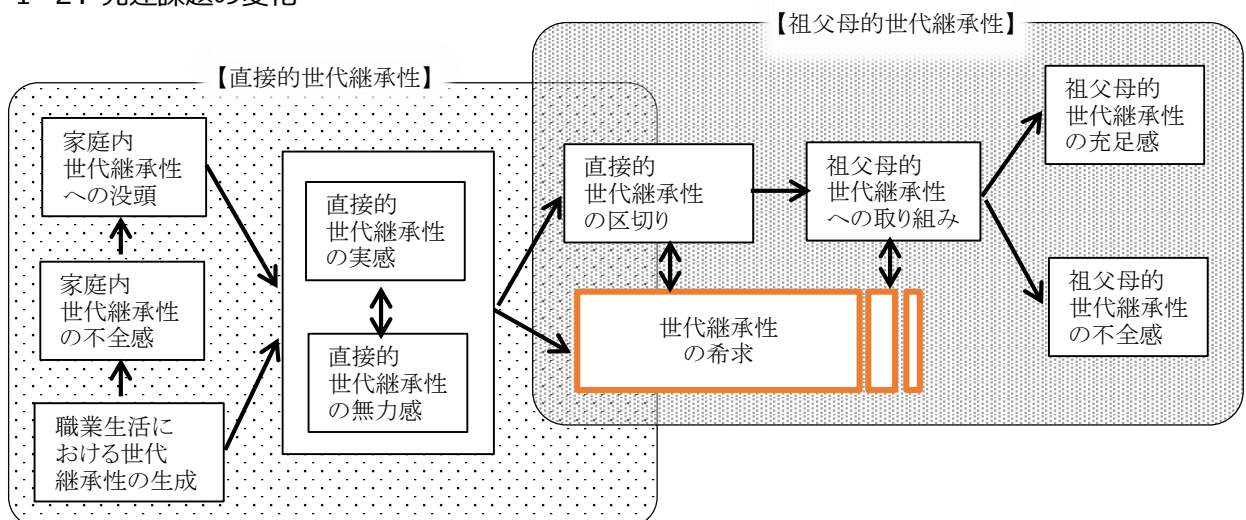


図2. 世代性の変化プロセス (深瀬・岡本, 2010b)

2. 老いの過程で心理的健康を維持する要因

心理的自律性とは、自分の生活や生き方において、年をとっても自己決定・選択性・意思性を持っている感覚 (Fukase, Koya, & Takano, 2013)。

2-1. 自律性尺度の作成

表1. 高齢者用心理的自律性尺度 (深瀬・木谷・下田, 2014)

●は逆転項目

Items	F1	F2	F3	共通性
Factor 1: 探索力 ($\alpha=.72$)				
2. 年のせいで何か困難なことにぶつかったときに、新しい手段や方法を見つけることは難しい(●)	0.77	-0.02	0.13	0.67
1. 年をとったら、自分で解決できない問題には取り組まなくなる(●)	0.71	-0.09	-0.02	0.43
3. 決断を下す時、いつも誰かにアドバイスを求める(●)	0.57	0.18	-0.12	0.43
Factor 2: 独立性 ($\alpha=.78$)				
8. 自分の考えは、そのときの状況や他の人の意見によって左右されがちである(●)	-0.17	0.96	0.03	0.78
4. 物事を判断する際、周りに影響される(●)	0.32	0.60	-0.08	0.62
7. 自分の意見を言うのは苦手だ(●)	0.14	0.53	0.12	0.48
Factor 3: 自己確信 ($\alpha=.73$)				
6. 自分の考えや意見を自由に言うことができる	-0.09	0.03	0.85	0.70
5. 自分の判断に自信を持っている	-0.06	0.07	0.66	0.44
9. 老いによる困難な出来事に出会っても、前向きな面を見つけることができる	0.24	-0.08	0.54	0.41
因子間相関	2	0.58	—	
	3	0.40	0.41	—

2-2. 自律性はADLが低下しても心理的健康を維持する要因になるのか？

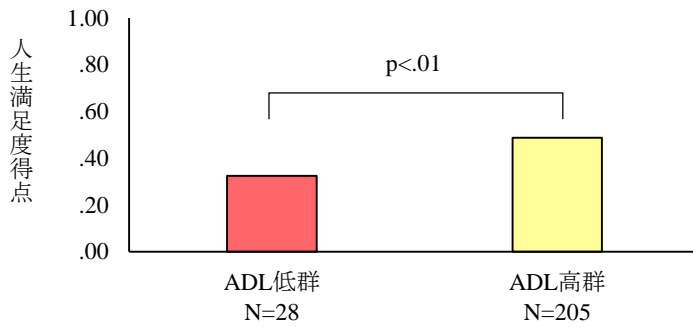


図3. ADLによる心理的健康 (深瀬・村山・田ヶ谷, 2015: 予定)

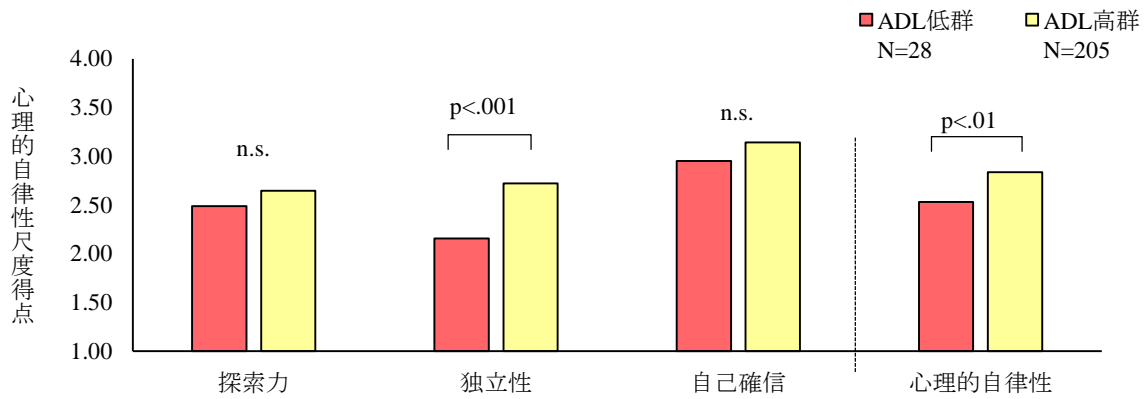


図4. ADLによる心理的自律性 (深瀬・村山・田ヶ谷, 2015: 予定)

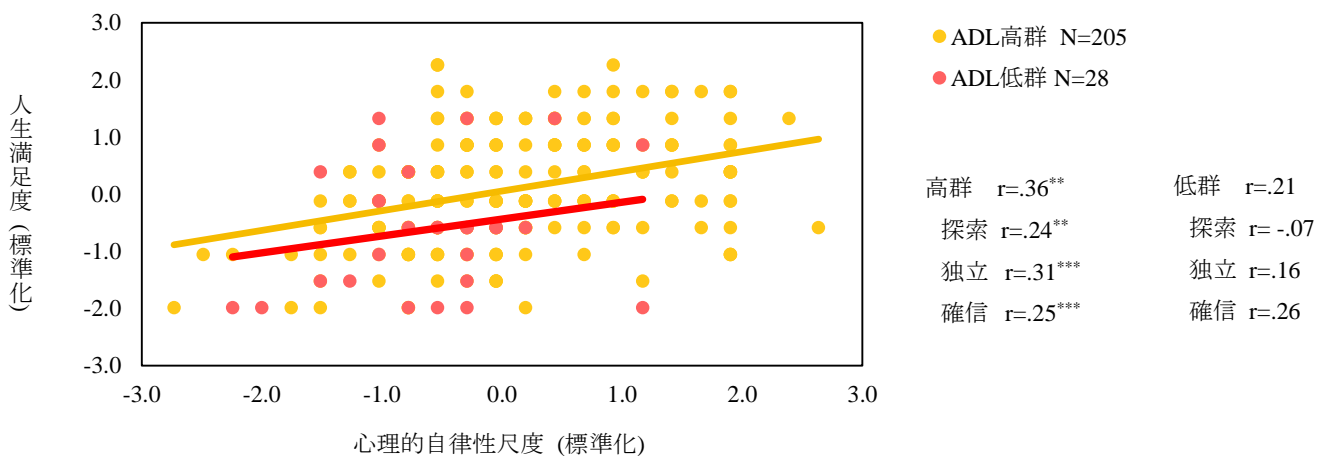


図5. ADL別の心理的自律性と人生満足度の相関 (深瀬・村山・田ヶ谷, 2015: 予定)

2-3. 心理的健康と自律性の関連

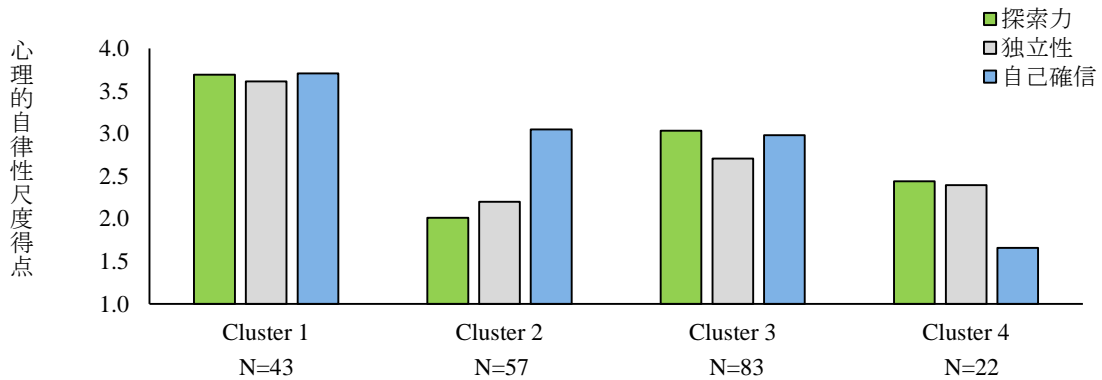


図 6. 心理的自律性尺度得点におけるクラスタ類型 (Fukase, Y., 2014)

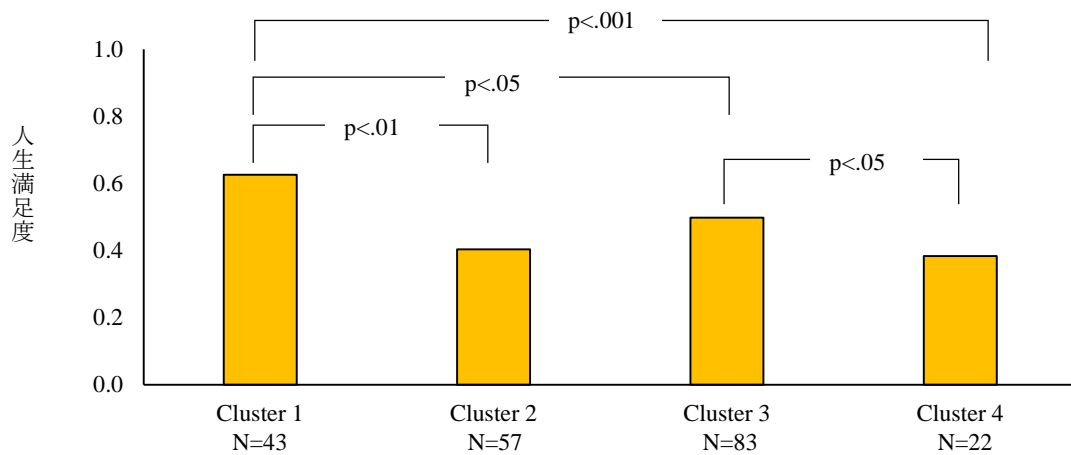


図 7. 自律性の類型と人生満足度 (Fukase, Y., 2014)

文献

1. 深瀬裕子・岡本祐子 (2010a). 老年期における心理社会的課題の特質—Erikson による精神分析的 個体発達分化の図式 第Ⅷ段階の再検討— 発達心理学研究, 21, 266-277.
2. 深瀬裕子・岡本祐子 (2010b). 中年期から老年期に至る世代継承性の変容 広島大学大学院教育学 研究科紀要 第三部(教育人間科学関連領域), 59, 145-152.
3. Fukase, Y., Koya, M., & Takano, Y. Challenge of autonomy vs. shame/ doubt: How resolved by older Japanese? The 13th European Congress of Psychology. 2013 年 7 月 12 日 (Stockholm, Sweden) (poster).
4. 深瀬裕子・木谷智子・下田千尋. 高齢者の自律性尺度の因子構造 日本発達心理学会第 25 回大会論 文集, 458. 2014 年 3 月 22 日, 京都大学 (京都府)
5. Fukase, Y. Phenotypes of psychological autonomy in the elderly using cluster analysis. 28th International Congress of Applied Psychology, 2014 年 7 月 11 日 (Paris, France)
6. 深瀬裕子・村山憲男・田ヶ谷浩邦. 身体機能老化プロセスにおける心理的自律性の働き 日本発達 心理学会第 26 回大会論文集, 東京大学 (2015: 予定)